

第5次佐倉市総合計画(2020年度～2031年度)

将来都市像(たたき台)

(案1) 笑顔輝き 佐倉咲く ～みんなで創ろう「健康・安心・未来都市」～

(案2) 歴史 自然 文化 健康のまち佐倉

～ともに創ろう 誰一人取り残さない 持続可能なまち～

(案3) とともに創ろう、住みやすさ日本一のまち 佐倉市

(案1) 笑顔輝き 佐倉咲く ～みんなで創ろう「健康・安心・未来都市」～

	「笑顔輝き」	「佐倉咲く」	「みんなで創ろう」	「健康」	「安心」	「未来都市」
込めた思い	住民福祉の増進、幸せの象徴	市の地域性、独自性の発揮	市民協働、連携	高齢化等への対応	まちづくりの基礎、基盤	社会情勢の変化への対応、市勢発展、持続可能なまち
策定本部会等からの意見	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てしやすいまち：待機児童発生数の減少 ○才能が開花する環境の整備 ○多様性への対応（障害者、子ども、トランスジェンダー等） ○外国人との共生 <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仲良しのまち ○笑顔あふれるまち／子どもの笑い声 ○いきいきしたまち／にぎやか／誰もが輝けるまち 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐倉市の売りとなるもの（例：大和芋、市民音楽ホールでロックコンサート） ○地域性を踏まえた施策展開 ○メリハリのあるまちづくり：スマートシティの実現（例：公共交通等により全市民が移動可能、マンション1階への診療所・スーパー併設等） ○城下町の整備（例：佐倉城築城） ○既存資源（自然、歴史、文化）の価値・質の向上：道路の拡幅、景観の統一 ○印旛沼の親水性 <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然との共生／街のそばの緑／都市と農村／循環 人・モノ・生命 ○多様なまち（様々な特性の各地区） ○住宅都市、住みか、暮らしの場 ○伝統と共存／古いが新しい／深み／作品の舞台／伝統的な ○将来都市像に「佐倉」を入れる。キャッチーなもの 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政のリソースだけでなく、市民・民間事業者等との協働による持続可能な仕組みづくり ○地域共生社会の実現（高齢者、障害者、生活困窮者、子ども・子育て等） ○近所同士のコミュニケーション強化による見守り、助け合い <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域意識、I♥SAKURA 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩いて暮らせるまち <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健やかさ 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT技術の活用による見守り：水道メーター等 ○買い物難民：高齢者が使いやすいタブレット等 ○公共交通の充実 ○住みやすい、生活しやすいまち ○災害に強いまちづくり <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すごしやすいまち ○やすらぎ 癒しのまち（緑豊か、人の温かさ・思いやり）／ゆったり／ゆとり／のどか／のんびり／穏やか／落ち着く／ ○ほどよいまち／ちょうどよいまち／地に足をつけて生きる 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口（生産年齢人口）の維持 ○イノベーションを生み出す産業の育成（AI、IoT、ロボット（農業、病院）等） ○雇用の場の創出（テレワークの動向） ○メリハリのあるまちづくり：スマートシティの実現（例：公共交通等により全市民が移動可能、マンション1階への診療所・スーパー併設等） ○ワークライフバランスに適した住環境の整備 <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャッシュレスでくらせるまち
市の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者福祉の充実 ○年少人口の減少対策 ○少子化対策 ○多文化共生社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○農地の新規利用集積 ○市街化調整区域に点在する既存集落の維持 ○インター周辺など産業適地の適正な土地利用の推進 ○歴史、伝統の継承と活用 ○豊かな自然環境の保全 ○SDGsへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステムの構築→地域共生社会の構築 ○人づくり、団体間の連携促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康寿命の延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な住環境の維持・向上 ○公共施設の効率的な運用 ○安全・安心なまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○定住・交流人口対策 ○生産年齢人口の減少対策 ○産業の活性化 ○市内雇用拡大 ○歳入（特に自主財源）の確保 ○行政運営の効率化（AI等の導入、「働き方改革」を含む）

(案2) 歴史 自然 文化 健康のまち佐倉 ～ともに創ろう 誰一人取り残さない 持続可能なまち～

	「歴史 自然 文化」	「健康」	「ともに創ろう」	「誰一人取り残さない」	「持続可能」
込め た思 い	市の地域性、独自性の発揮	高齢化等への対応	市民協働、連携	経済、社会、環境の統合的向上	社会情勢の変化への対応、市勢発展、持続可能なまち
本 部 会 等 か ら の 見 え	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○佐倉市の売りとなるもの(例:大和芋、市民音楽ホールでロックコンサート) ○地域性を踏まえた施策展開 ○メリハリのあるまちづくり:スマートシティの実現(例:公共交通等により全市民が移動可能、マンション1階への診療所・スーパー併設等) ○城下町の整備(例:佐倉城築城) ○既存資源(自然、歴史、文化)の価値・質の向上:道路の拡幅、景観の統一 ○印旛沼の親水性 <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然との共生/街のそばの緑/都市と農村/循環 人・モノ・生命 ○多様なまち(様々な特性の各地区) ○住宅都市、住みか、暮らしの場 ○伝統と共存/古いが新しい/深み/作品の舞台/伝統的な ○将来都市像に「佐倉」を入れる。キャッチーなもの 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩いて暮らせるまち <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健やかさ 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政のリソースだけでなく、市民・民間事業者等との協働による持続可能な仕組みづくり ○地域共生社会の実現(高齢者、障害者、生活困窮者、子ども・子育て等) ○近所同士のコミュニケーション強化による見守り、助け合い <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域意識、I♥SAKURA 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○誰一人取り残さない(SDGsの考え)はトレンド/真のやさしいまち佐倉(若年、高齢者、女性、環境)/困っても大丈夫 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口(生産年齢人口)の維持 ○イノベーションを生み出す産業の育成(AI、IoT、ロボット(農業、病院)等) ○雇用の場の創出(テレワークの動向) ○メリハリのあるまちづくり:スマートシティの実現(例:公共交通等により全市民が移動可能、マンション1階への診療所・スーパー併設等) ○ワークライフバランスに適した住環境の整備 <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャッシュレスで暮らせるまち
市 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○農地の新規利用集積 ○良好な住環境の維持・向上 ○歴史、伝統の継承と活用 ○豊かな自然環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康寿命の延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステムの構築→地域共生社会の構築 ○人づくり、団体間の連携促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGsへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○定住・交流人口対策 ○生産年齢人口の減少対策 ○産業の活性化 ○市内雇用拡大 ○歳入(特に自主財源)の確保 ○行政運営の効率化(AI等の導入、「働き方改革」を含む)

(案3) ともに創ろう、住みやすさ日本一のまち 佐倉市

	「ともに創ろう」	「住みやすさ」	「日本一」
込めた 思い	市民協働、連携	住環境, 市民生活の向上	選ばれるまち
本部 会等 から の 意 見	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政のリソースだけでなく、市民・民間事業者等との協働による持続可能な仕組みづくり ○地域共生社会の実現(高齢者、障害者、生活困窮者、子ども・子育て等) ○近所同士のコミュニケーション強化による見守り、助け合い <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域意識、I♥SAKURA 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メリハリのあるまちづくり: スマートシティの実現(例: 公共交通等により全市民が移動可能、マンション1階への診療所・スーパー併設等) ○住みやすい、生活しやすいまち ○子育てしやすい街 ○ICT技術の活用による見守り: 水道メーター等 <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内ですべてがそろうまち ○住宅都市、住みか、暮らしの場 	<p>【本部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口(生産年齢人口)の維持 ○日本一進んだ町としてアピールすることが大切 <p>【作業部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界から〇〇されるまち(注目、あこがれ、目標、尊敬、選ばれる)
市の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステムの構築→地域共生社会の構築 ○人づくり、団体間の連携促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者福祉の充実 ○地域包括ケアシステムの構築→地域共生社会の構築 ○良好な住環境の維持・向上 ○交通環境の改善 ○SDGsへの対応 ○安全・安心なまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○定住・交流人口対策